



いじめ問題の解決のために大切なこと

～保護者との連携協働～

令和7年度チーム学校生徒支援体制整備事業 第1回村山地区協議会 令和7年6月5日（木）
講師：神田外語大学 客員教授 嶋崎 政男 氏

いじめ問題に関する基本的認識に基づき、事例をとおして適切な未然防止、早期発見・早期対応の在り方について理解を深め、いじめとその重大事態化を防ぐための教職員一人一人の日常的指導力・対応力の向上を図ることをねらい、協議会を行いました。

嶋崎氏は、特にナレッジマネジメント（再発防止）の重要性を語られました。そのためには、組織内で蓄積した知識・情報を組織全体で共有・活用すること、「他校で起こったことは自校でも起こる」ということを共有することが大切であると示されました。さらに、世の中は法化社会であるため、コンプライアンスを重視し、法令遵守、法的思考、法的対応が欠かせないとも言及されました。

いじめの認知が遅れた場合、認知したいじめの初期対応が不十分な場合、保護者との情報共有（いじめ防止対策推進法第23条）を怠った場合、学校の対応に保護者の理解が得られない場合など、解決までの道筋が見えず長期化することがあります。いじめ問題の解決には、保護者と連携協働することが重要です。その具体的な行動について、いくつかお示しします。



○いじめを受けた側、行った側双方の保護者と、いじめに関する情報や子どもの成長支援という視点を共有し、解決に向けて連携して取り組んでいくことを確認する。

○保護者の困り感を『聞く』『聴く』だけでなく、「これからどうしますか？」「これからどうしたいですか？」と今後について考えを『訊く』ことを大切にする。

○学校で保護者と面談をする際の具体的な配慮

例えば 保護者の都合を尋ねてから、時間・場所を決定する。

保護者に負担をかけないよう、座席の工夫をする。（対峙はしない、取り囲まない等）

保護者の着席を見届けてから教員が着席する。 等

～参加者より～

・全教職員のいじめに対する意識を高めるために、訴訟や裁判が起こっている事実を伝えるとともに、そうならないために何ができるか、毎日どんな取り組みを進めていくかについて話し合い、研修を行っていききたいです。また、子どもたちの意識を高めることも大切だと思いました。（小学校教諭）
・本校のいじめ防止基本方針を改めて読み返し、内容を正しく理解しておくことの大切さを感じました。さらに、いじめに関して全職員で共通理解することが、未然防止や早期発見につながると再確認しました。曖昧な対応や独自の判断で進めるのではなく、正確な事実確認と速やかな報告・連携を心がけていきたいです。（中学校教諭）

第2回村山地区協議会では、今回の学びを踏まえ、具体的な事例検討をとおして早期発見・早期対応の在り方や重大事態化を防ぐ対応のポイントを参加者で考えていきます。ぜひ御参加ください。

子どもたちのために私たち大人ができること

5月23日（金）に令和7年度第1回家庭教育支援フォーラムを開催しました。県家庭教育アドバイザー3名によるパネルディスカッション及び参加者によるグループトークを行いました。

山形県家庭教育アドバイザー

土屋 常義 氏 村山 恵子 氏 渡邊 裕子 氏



絵本を介して、子どもと言葉をかけ合い、心を通わす◎実演を通じて、参加者は実感できました◎



アドバイザーの話を受けて、様々な立場で自分たち大人ができることを語り合いました。

共育(ともいく) × 遊育(ゆういく) × 読育(どくいく)
それぞれの立場でお話しいただきました。

参加者の感想

- ・共に楽しむことと共に成長すること、絵本やわらべうたなどを通して、さらに子どもが成長できるように今後も関わりたいと思う。
- ・遊びの姿が変わっていったことや、今私たちができることは何かを改めて考えさせられた。
- ・子どもの成長を妨げるような対応は改善していきたい。各家庭に、共育、遊育、読育が広まればいい。
- ・子どもが変わることを期待するのではなく、大人が変わるということが大切だと感じた。

Murayama Young
MY ボランティア
スタートアップセミナー



令和7年度青少年地域活動・ボランティア活動推進事業

会場：イオンモール天童

6月28日（土）に村山地区の中学生を対象に、「MYボランティアスタートアップセミナー」を開催しました。総勢63名が参加し、ボランティアの意義や実技を学びました。

参加者の感想

山辺町「ミルク」、尾花沢市「風ぐるま」のメンバーがバルーンアートを教えました。

・バルーンアートは初めてで難しかったけれど、作った作品を子どもへあげたとき、笑顔になってくれて、とても嬉しかったです。このような機会があったことで新しいスキルを身に付け、学べたので良かったです。

・ボランティアに関する話を多く知ることができて良かったです。特にボランティアで大切な「4つの原則」が心に残りました。高校生になったら、地域のボランティアサークルに入りたいと思いました。

・作ったものを子どもにプレゼントすることができて、作って良かったなと思いました。その後、子どもたちは笑顔だったので、自分も嬉しくなりました。他校の生徒とも仲を深めることができ、ボランティアは最高だと思いました。機会があったらまた参加したいです。



ボランティアを通して、新しい仲間と出会いました。



小さい子どもたちへプレゼントしました。

スタートアップセミナーは、ボランティアへの1歩目を踏み出す機会になるように実施しました。ぜひ、このセミナーに参加したことをきっかけにして、これからボランティア活動に主体的に取り組んでもらえればと思います。

